

キャラクター名
宇参 伊織 (うさみ いおり)

プレイヤー名

シンドローム	バロール バロール	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16	性別	男性
覚醒		衝動	飢餓	初期侵食率	14 %
出自	安定した家庭	経験	無力	邂逅	慕情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	8		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	3		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	RC	7r+8				
	RC	13r+8				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ストレッチフェイス	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
邪眼	P	N		
家族	P 親愛	N 不安		
如月 ふうか	P 友情	N 恐怖		
天使 陽向	P 親愛	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
迎撃する魔眼	2	7	リアクション	視界	単体	<RC>	リミット	
効果:	リアクションの直前に使用。リアクションを放棄することで、対象に《黒の鉄槌》で攻撃。C値-LV(下限7)。対象はリアクション不可							
コンセントレイト:バロール	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-LV(下限7)							
黒の鉄槌	7	1	メジャー	視界	-	<RC>	-	
効果:	攻+[LV*2+2]の射撃攻撃。同エンゲージ不可							
黒星の門	5	2	メジャー	-	-	(シド-ム)	-	
効果:	判定ダイス+[LV+1]個。「同エンゲージ不可」を同エンゲージでも可能に。							
軽快なる積荷	★	-	常時	至近	自身	-	-	
効果:	荷物を軽々持てるよ。宙に浮かすことも出来るみたい。							
偏差把握	★	-	メジャー	視界	シーン(選択)	-	-	
効果:	周囲の人や物の位置、移動する方向が分かるよ。							
屑鉄の橋	★	-	メジャー	視界	効果参照	-	-	
効果:	スクラップで足場を作れるよ、ぶい。							
刻の魔術師	★	-	メジャー	至近	効果参照	-	-	
効果:	無機物限定で、その時間を急速に進めることができるよ。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「
 <基本的な設定・性格>
 竜宮市のごく一般的な家庭に生まれた普通の高校1年生。兄弟姉妹はおらず、父母、祖父母との関係は良好。争いごとをあまり好んでおらず、普段はどちらかというと事なかれ主義。但し、自身にとって大切な人間や近しい人間が絡む際はその限りではなく、平時の伊織しか知らない人からは驚かれることも多々。物語やゲームのような未知の世界への憧れは強いものの、そんな世界現実にあるわけではないということも同時に強く認識しており、憧れは憧れのままで終わってしまっている。
 幼馴染の天使陽向に好意を抱いているが、この感情が家族に向けるものと同じものなのか、それとも彼女だからこそ感じるものなのか判断がついておらず、保留のまま今日に至る。

<幼馴染との関係性>
 天使陽向はお隣さんの幼馴染。
 小学生の頃、陽向に好意を持っていた上級生男子の事が好きな上級生女子に因縁をつけられ、2人でいる時に彼女らに絡まれた。その際、体格差もあったため彼女らから陽向を護ることができず、強い無力感に苛まれた。幸い、周辺住民からの通報により陽向に大きな危害が加えられることはなかったものの、この一件は今でも尾を引いており、陽向に負い目を感じてしまう一因となっている。

<趣味とか(白兵型だった頃の名残)>
 趣味は剣道。もしも陽向が不審者に襲われても僕が護れるように…という動機で始めたが、周りには秘密にしている。
 中学生の頃は剣道部に所属しており、全国大会まであと一歩程度の實力であったが、初の全国大会出場の際に会場近くの公共交通機関(バスとか)が交通事故に見舞われてしまい、結局出場することはできなかった。事故以来、競技としての剣道にあまり魅力を感じなくなってしまい、剣道を始めた動機や元来の性格も相まって、結果的に高校では帰宅部を選択している。
 また、ゲームも趣味の1つとして好んでプレイしており、自身の小遣いの許す範囲内で色々なジャンルのゲームを遊んでいる。